

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	社会・集団・家族心理学		
担当者(Instructors)	吉村 道孝	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「社会心理」学は、2つの特徴がある。1つは、集合体の全体的性質やその動きを主たる研究対象とする学問分野であり、個人の意識や行動も集合体の動きの一コマとして理解すること。もう1つは、対象の客観的・普遍的な性質を明らかにする実証的研究スタンスではなく、研究者と当事者の協同的实践を通じて新たな理解や行為を生成していく、人間科学の研究スタンスをとること。本講義では、「社会心理」学の理論、方法論、人間科学のメタ理論（社会構成主義）を詳しく説明するとともに、実践的な研究例をいくつかのテーマに沿って紹介する。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式でおこなう。テーマに関連するテーマや研究、視聴覚資料を用いて理解を深められるようにする。受講者が自身の家族や社会について考える機会も多く、グループを作ってグループワーク、ディスカッションを用いるため、自分で調べたり、積極的な姿勢が求められる。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	社会・集団・家族心理学とは何か	心理学における社会心理学、集団心理学、家族心理学とは何かについて学習する。	<input type="checkbox"/>
第2回	対人認知	人間関係の中で人が他者をどのように認知をしているのかという対人認知の現象や理論について学習する。	<input type="checkbox"/>
第3回	態度と行動	社会的行動の準備状態でもある態度とそれを説明する理論について解説し、態度と社会的行動との関係について学習する。	<input type="checkbox"/>
第4回	ステレオタイプと偏見	差別の原因にもなる人々の偏見や偏った認知の背後にある心理的過程やそれを説明する理論について学習する。	<input type="checkbox"/>
第5回	向社会的行動と反社会的行動—援助と攻撃	人助けなどの援助行動と人に危害を与える攻撃行動における心理的過程とそれらの行動を説明する理論について学習する。	<input type="checkbox"/>
第6回	社会的促進と社会的抑制	他者の存在によって行動が促進されるという社会的促進現象や、他者がいると勉強がしにくくなるというような社会的抑制現象について学習する。	<input type="checkbox"/>
第7回	社会的影響	他者の意見や行動に同調してしまうような現象や、権威のある者に服従してしまうような現象、さらにはそれらの現象に関する理論について学習する。	<input type="checkbox"/>
第8回	集団過程	同じグループの人にはえこひいきをするような内集団バイアスという傾向などを含む集団の過程と理論について学習する。	<input type="checkbox"/>
第9回	社会的相互作用	人間同士の相互作用とそれを説明する理論について学習する。	<input type="checkbox"/>
第10回	対人関係の形成と発展	対人的な好意や非好意、対人関係の形成、発展、崩壊などについての現象や理論について学習する。	<input type="checkbox"/>
第11回	家族の人間関係	家族心理学の重要なトピックである家族の人間関係とそれを説明する理論について学習する。	<input type="checkbox"/>
第12回	ソーシャル・サポート	家族を含む人々の人間関係の支え合いについての現象やそれらを説明する理論について学習する。	<input type="checkbox"/>
第13回	文化と社会心理	認知や社会的行動の社会・文化依存性など文化と社会心理の問題について学習する。	<input type="checkbox"/>
第14回	集合行動とマスコミュニケーション	社会の中で観察される流行などの集合行動と、新聞やテレビなどのマスメディアやインターネットを媒介とするコミュニケーションの影響について学習する。	<input type="checkbox"/>

第15回	社会心理学の将来展望&質疑応答	多様化する社会の中で、社会・集団・家族心理学の知見をどのように活かすのかについて学習する。	□
------	-----------------	---	---

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習：授業開始前に、授業で扱われるテーマに関わる理論・実験・出来事についてインターネット等で調べてくる。（2時間）事後学習：講義を受けて振り返り、興味があったポイントをさらに深く学習する。不明な点は次回講義の小レポートに記載すること。（2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回講義後に小テストもしくは小レポートを実施し理解度を確認する。次回の講義の冒頭で疑問点や課題を共有する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019人間健康DP1	社会・集団・家族の中で、個人とはどのような点で異なるのかを理解し、その留意点を説明できる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	社会・集団・家族の中で、個人とはどのような点で異なるのかを理解し、その留意点を説明できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回、講義後に小テストもしくは小レポートを実施し、理解度を確認する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内容に応じて資料を配付する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		